

菅田千尋 小個展《ゆっくりラジオ》特別ライブ

It's Gone in the Air

福島諭 / 母 / 菅田千尋

福島諭 Satoshi Fukushima

1977年新潟生まれ。コンピュータのリアルタイム処理を援用した室内楽曲の作曲 / 発表を軸に、創作における他者との共創的なあり方、広義の即興性について研究を進める。コンピューターを介させた独自のセッションを試みる Mimiz のメンバー。濱地潤一との室内楽《変容の対象》は、2009年元旦より開始され、ひと月に1曲のペースで共同作曲を継続している。CD「福島諭:室内楽 2011-2015」(G.F.G.S.Label、2016年)、福島麗秋+福島諭によるLP「Inter-Others」(experimental room、2024年)など。

現在 IAMAS RCIC 研究員。

主な賞として第十八回文化庁メディア芸術祭 アート部門
優秀賞、「坂本龍一 | 設置音楽コンテスト」佳作など。

母 mama

2001年茨城県生まれ。新潟県でのバンド活動を経たのち、2024年より母 (mama) という名義で環境音楽作家として活動を開始。同年に自身のレーベル ATARI.RECORD から EP「Music for my room」をリリース。その他、「Music for」「童画」などの作品を発表し、空間一場所という関係、あるいはそれらをつなぐイメージに着目したアンビエント・ミュージックの探究を続けている。

岐阜 bicafe

2025年6月28日(土) 19時開演

チャージ: 一般 ¥1500 / 学生 ¥500 (1ドリンク付き)

